

現代映像プロデュース論 2011

～最もホットな人の、最も新しいビジョン～

アニメーション大国といわれる日本。現在は、アニメーションという文化を、自覚的、確信的に将来にわたって発展させていくべき時期を迎えています。それには、作家・監督のみならず、コンテンツ企画や事業スキームを設計するプロデューサーの役割がたいへん重要です。メディアミックスや国際共同制作などグローバルな展開を見せるアニメーション界にあって、コンテンツ制作ひいては、日本のアニメーション界に対してどういうビジョンを描き、どういう事業を展開し、どういう人材を育成していくか、まさに今に生きるプロデューサーたちが取り組まなければいけない問題だと考えます。東京藝術大学大学院映像研究科では、このような趣旨にのっとり、2009 年より第一線で活躍するプロデューサーたちをお招きし、公開講座を行っています。これまでに内外の 10 名のプロデューサーがご登壇され、それぞれのプロデュースセオリーを論じていただきました。2011 年度もますます多彩な講師陣が登場します。この公開講座が、現役プロデューサーおよびプロデューサー志望者、そしてコンテンツリーダーたちに明日へのビジョンを与えるものになればと思っています。

「現代映像プロデュース論」企画・モデレーター 岡本 美津子 東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授

Profile

NHK プロデューサーとしてデジタルアート作品の公募番組「デジタル・スタジオ」や、データ放送、インターネット、携帯コンテンツの開発などを行う。2007 年から同大学院にて企画プロデュースの研究、教育を行う。2010 年 4 月から NHK E テレで毎週月～金放送中の「2355」「0655」のプロデュースも手掛けている。

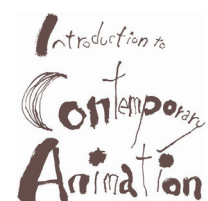


■ 参考：2010 年講師

- 演題：「才能発掘の場としてのフェスティバル」
講師：木下 小夜子 広島国際アニメーションフェスティバル フェスティバルディレクター
- 演題：「インディペンデント監督のプロデュース論」
講師：長江 努 (株) ディレクションズ 代表取締役 「イブの時間」プロデューサー
- 演題：「アニメの製作スキーム」
講師：亀田 卓 (株) 電通 テレビ&エンタテインメント局
- 演題：「監督をつくる～プロダクション I.G の戦略」
講師：石川 光久 (株) プロダクション・アイジー代表取締役社長

■ <http://animation.geidai.ac.jp/pd2011/>

■ 会場：東京藝術大学 横浜校地 馬車道校舎
アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」7番出口を出てすぐ



コンテンポラリーアニメーション入門 ～現代短編アニメーションの見取り図～ 2011

- 9 / 18 (日) 第7回講座 マイブリッジの糸 (現代映像プロデュース論第 1 回講座と同日開催)
- 10 / 8 (土) 第8回講座 キャロライン・リーフ、描くこと、動くこと
- 11 / 26 (土) 第9回講座 商業と個人作品、イゴール・コヴァリョフ

講演 / 進行：山村浩二 事前申込制 入場無料 <http://animation.geidai.ac.jp/ca2011/>

馬車道エッジズ
PRODUCE

馬車道エッジズ
ANIMATION

PRODUCED BY

入場
無料

事前申込不要

東京藝術大学大学院映像研究科 公開講座
馬車道エッジズ

現代映像プロデュース論 2011

～最もホットな人の、最も新しいビジョン～



第1回	「国際共同制作の新しい動向」 ※逐次通訳あり 2011年 9月18日 [日] 15:30-17:00 (15:00開場) 講師：マイケル・フクシマ NFB(カナダ国立映画制作庁) プロデューサー
第2回	「NHK みんなのうた～壮大な才能開拓プログラム」 2011年 10月20日 [木] 18:30-20:00 (18:00開場) 講師：飯野 恵子 (株) NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
第3回	「テレビメディアにおける、メディアビジネスとコンテンツビジネス～ノイタミナの挑戦～」 2011年 11月13日 [日] 15:00-16:30 (14:30開場) 講師：山本 幸治 (株) フジテレビジョン 「ノイタミナ」 編集長
第4回	「国際的 3DCG マーケットの将来」 2011年 12月22日 [木] 18:30-20:00 (18:00開場) 講師：塩田 周三 (株) ポリゴン・ピクチュアズ代表取締役社長
第5回	「アニメーションと企業活動」 ※第5回と第6回は同日開催となります。 2012年 2月4日 [土] 15:00-16:30 (14:30開場) 講師：古田 彰一 (株) STEVE N' STEVEN 代表取締役 CEO / クリエイティブディレクター 講師：神山 健治 (株) STEVE N' STEVEN 共同 CEO / アニメーション映画監督 講師：石井 朋彦 (株) STEVE N' STEVEN 取締役 / プロデューサー
第6回	「超実践的のシノプシス講座」 ※第5回と第6回は同日開催となります。 2012年 2月4日 [土] 17:00-18:30 (16:30開場) 講師：古田 彰一 (株) STEVE N' STEVEN 代表取締役 CEO / クリエイティブディレクター 講師：神山 健治 (株) STEVE N' STEVEN 共同 CEO / アニメーション映画監督 講師：石井 朋彦 (株) STEVE N' STEVEN 取締役 / プロデューサー



主催：東京藝術大学大学院映像研究科 共催：横浜市文化観光局

2011	
9	18
SUN	
開場 15:00	
講演 15:30	
↓	
17:00	

第1回

「国際共同制作の新しい動向」 ※逐次通訳あり

講師： マイケル・フクシマ NFB(カナダ国立映画制作庁) プロデューサー

国立のアニメーションスタジオとして、数々の名作を制作してきたNFB(カナダ国立映画制作庁)。そのNFBでは今や国際共同制作の作品がほとんどとなっています。本学教授山村浩二最新作品「マイブリッジの糸」もまさにNFBとの国際共同制作によって作られました。NFBの国際共同制作に対する考え方やプロセス、今後のビジョンはどのようなものであり、どう変わろうとしているのでしょうか？フクシマ氏が手がけたいくつかの作品を事例に、短編アニメーションにおける国際共同制作の今後を考えていきたいと思います。

コンテンポラリーアニメーション入門第7回講座 同日開催（※こちらは事前申込制です。）<http://animation.geidai.ac.jp/ca2011/>

マイケル・フクシマ (Michael Fukushima) プロフィール：
1984年から映画を作り続け、ホット・ドキュメントを受賞した『ミノル：逃亡のメモリー』で、1990年にNFB(カナダ国立映画制作庁)に入る。1997年に同アニメーション部門のプロデューサーとなり、NFBの主力若手映画制作者育成プログラム『ホットハウス』の共同制作、ジニー賞受賞『cNote』（監督：クリス・ヒントン）、リリアン・チャン賞受賞『Jaime Lo, small and shy』DOKライブツィヒ金鳩賞とNHK日本賞受賞のアニメーション・ドキュメンタリー映画『自分の靴ひもを締めよう』（監督：シラ・アグニ）などを手掛ける。今年、日本との国際共同制作で、山村浩二監督『マイブリッジの糸』を完成させた。



2011	
10	20
THU	
開場 18:00	
講演 18:30	
↓	
20:00	

第2回

「NHK みんなのうた～壮大な才能開拓プログラム」

講師： 飯野 恵子 (株) NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

2011年4月に、放送開始から50年を迎えた「NHK みんなのうた」。そのアニメーション制作者にはそうそうたる名前が連なっており、ある意味、短編アニメーション作家の才能を開拓してきたプログラムともいえます。インキュベーションとしての放送番組およびテレビメディアが果たすべき役割とは何でしょうか。また、50年という継続した蓄積を持つコンテンツを、今後、将来に向けてどう生かしていけるのか、その課題と可能性についても議論します。

(2010年度実施予定でしたが、震災により開催が延期されました。)

飯野恵子 (いいの けいこ Keiko Iino) プロフィール：
日米の大学で比較演劇・舞台芸術・映像論を専攻。帰国後、NHKエンタープライズにて国際音楽イベント制作・運営、世界20カ国の長編映画の企画開発支援に関わり、'01年より「みんなのうた」担当。大きな古時計・りんごのうた・ぼくはくま・おしりかじり虫・魔法の料理などを手がける。気鋭の若手映像作家の発掘を積極的に行い国内外の映像祭などで数々の賞を受賞。'09年同番組初の舞台『ハーイ!グラスホッパー』（主演：高見のつば）では脚本・演出を手がけ、'10年、厚生労働省社会保障審議会推薦 児童福祉文化財に指定、各地で上演。2011年、みんなのうた50年を記念し1300曲データベースのWEB <http://www.nhk.or.jp/minna/> を公開、「みんなのうたフェスティバル!」（2011年9月23日放送予定）など様々な特番を制作中。



2011	
11	13
SUN	
開場 14:30	
講演 15:00	
↓	
16:30	

第3回

「テレビメディアにおける、メディアビジネスとコンテンツビジネス～ノイタミナの挑戦～」

講師： 山本 幸治 (株) フジテレビジョン 「ノイタミナ」 編集長

2005年の番組開始以来、「ハチミツとクローバー」「東のエデン」「四畳半神話大系」など、数々のヒット作を開発し続けているフジテレビの深夜のアニメ放送枠「ノイタミナ」。インターネットを始めとするメディアの多様化とそれに伴う視聴態様の変化によって、テレビメディアの存在価値が問われる中、「ノイタミナ」はどのように変化・発展してきたのか。「ノイタミナ」の立ち上げから現在までに関わるプロデューサーが、広告を基盤とするメディアビジネスのテレビ局において、コンテンツビジネスをいかに成立させ、ときに守って、ときに発展させてきたかを語ります。

山本幸治 (やまもと こうじ Koji Yamamoto) プロフィール：
1975年生まれ。フジテレビ映像コンテンツ事業部所属 ノイタミナ編集長。プロデューサーとして、ノイタミナの枠の立ち上げから現在までを担当。ノイタミナの代表作として「ハチミツとクローバー」「もやしもん」「東のエデン」「四畳半神話大系」「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」など
twitterID @koji8782 @noitamina2010



2011	
12	22
THU	
開場 18:00	
講演 18:30	
↓	
20:00	

第4回

「国際的 3DCG マーケットの将来」

講師： 塩田 周三 (株) ポリゴン・ピクチュアズ 代表取締役社長

立体映像マーケットの躍進なども重なり、今や3DCGが大きなシェアを占める劇場映画市場。アニメーション映画も例外ではありません。そのような中で、日本のお家芸ともいえるアニメーションはどのような位置にあり、今後どうなっていくのでしょうか？また開発競争の激しい3DCG市場において、日本の3DCGコンテンツ制作の将来およびそれに向けた人材、事業育成はどうあればよいのでしょうか？

塩田周三 (しおた しゅうぞう Shuzo Shiota) プロフィール：
代表取締役役に就任以来、海外のTVシリーズ受託制作や海外市場をターゲットにしたコンテンツ企画開発を実現、Prix Ars Electronica (オーストリア)、SIGGRAPH (米) 等、海外有数映像コンテストや、TBSデジコンや財団法人デジタルコンテンツ協会主催のクリエイターズコンペティションの審査員等を歴任し、未来のクリエイター達の育成にも尽力している。2008年には米国アニメーション専門誌 Animation Magazine が選ぶ「25 Toon Titans of Asia (アジア・アニメーション業界の25傑)」の一人に選定された。またポリゴン・ピクチュアズも2010年にDeloitte Touche Tohmatsu が選ぶ Technology Top 500 Asia Pacific に選定された。



2012	
2	4
SAT	
開場 14:30	
講演 15:00	
↓	
16:30	

第5回

「アニメーションと企業活動」

講師： 古田 彰一 (株) STEVE N' STEVEN 代表取締役 CEO/ クリエイティブディレクター

講師： 神山 健治 (株) STEVE N' STEVEN 共同 CEO / アニメーション映画監督

講師： 石井 朋彦 (株) STEVE N' STEVEN 取締役 / プロデューサー

作り手から受け手まで日本のアニメーション文化はユニークで大きな発展を遂げてきました。この文化を、他分野へ応用すれば、アニメーションの持つ可能性と将来性はもっと広がるのではないのでしょうか。2011年4月に設立されたSTEVE N' STEVENから、広告業界のクリエイティブディレクターとアニメーション監督、プロデューサーを迎え、彼らの挑戦とアニメーションの持つポテンシャルリティについて語ります。

古田彰一 (ふるた しゅういち Shoichi Furuta) プロフィール：
1967年生まれ。1991年博報堂に入社、コピーライターとして制作局配属。その後クリエイティブディレクターとして、数々のTVCM話題作や大型キャンペーンを手掛ける。2度のTCC賞をはじめ、クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト、広告ギャラクシー賞、ニューヨークADC賞、TCC新人賞、広告批評年間ベスト(2度)、JR東日本交通広告賞ゴールド(3度)など、国内外の主要広告賞において受賞多数。2008年、業界初のクリエイティブコンサルタントとしての活動を経て、2011年4月、アニメーション映画監督の神山健治氏と新会社設立。代表取締役社長に就任。

神山健治 (かみやま けんじ Kenji Kamiyama) プロフィール：
1966年生まれ。背景美術スタッフとしてキャリアをスタート。『AKIRA』や『魔女の宅急便』等に背景として参加し、フリーに。数々の作品で美術監督を務めた後、ゲームのムービーパートなどの演出に転身、美術出身の演出家として注目を集める。Production I.Gのテレビシリーズ『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』、『攻殻機動隊 S.A.C. 2nd GIG』などを監督し、DVDセールスが累計230万枚を超える大ヒットとなり、国内外に熱狂的なファンを獲得。NHKのテレビシリーズ『精霊の守り人』で監督を務め、『東のエデン』では、初の完全オリジナル作品として原作・脚本・監督を手掛け、高視聴率をマーク。現在劇場公開中の『攻殻機動隊 S.A.C. SOLID STATE SOCIETY 3D』もヒットを続けている。現在、最新作の制作中。

石井朋彦 (いしい ともひこ Tomohiko Ishii) プロフィール：
1977年生まれ。1999年スタジオジブリ入社。鈴木敏夫氏に師事し『千と千尋の神隠し』、『猫の恩返し』、『ハウルの動く城』でプロデューサー補、『ゲド戦記』で制作を担当。2006年、Production I.Gへ移り、押井守監督『スカイ・クロラ The Sky Crawlers』『GHOST IN THE SHELL/ 攻殻機動隊 2.0』、神山健治監督の『東のエデン』をプロデュース。現在、最新作の『攻殻機動隊 S.A.C. SOLID STATE SOCIETY 3D』が全国順次公開中。現在神山健治監督の次回作を制作中。



2012	
2	4
SAT	
開場 16:30	
講演 17:00	
↓	
18:30	

第6回

「超実践的シノプシス講座」 ※第5回と第6回は同日開催となります。

講師： 古田 彰一 (株) STEVE N' STEVEN 代表取締役 CEO/ クリエイティブディレクター

講師： 神山 健治 (株) STEVE N' STEVEN 共同 CEO / アニメーション映画監督

講師： 石井 朋彦 (株) STEVE N' STEVEN 取締役 / プロデューサー

企画やお話のあらすじともいえる「シノプシス」。シノプシスを見れば、クリエイティブのクオリティがわかるとまでいわれ、まさに企画のスタート地点であり、制作途中に何度も立ち戻る原点でもあります。「攻殻機動隊 S.A.C.」「東のエデン」などの作品で知られるアニメーション映画監督の神山健治監督、第一線で数々の企画を担う石井朋彦プロデューサー、古田彰一クリエイティブディレクターが、実際のシノプシスに基づき、実務と経験に立脚した実践的講座を行います。

※予告なく演題、講師を変更する場合がございます。ご了承ください。